

2015年 11月 24日

日本の海岸線を歩く会 歩行報告書

報告者 友松知宏

1. 概要

地域分類	山陽道
歩行区間	1)スタート地点: JR 呉線・呉駅 ～ ゴール地点: 小仁方バス停(広島県呉市)
	2)スタート地点: JR 呉線・安芸津駅 ～ ゴール地点: JR 山陽本線・三原駅
実施期間	平成 27 年11月 7日(土)～11日(水)
全歩行距離	9.9+2.8+11.4+8.4+17.5 = 50 Km

2. メンバー表

No.	役割・分担	氏 名	年齢	歩行日数	備 考
1	リーダー&記録	友 松 知 宏	75歳	4日	8期
2		友 松 和 子	76歳	3日	
3		江 守 善 昭	76歳	4日	5 期

3. 歩行の概要

歩行距離の赤字=オプション歩行 (参考)

	月 日	出発地 ～ 到着地	歩行距離	歩行者	備 考
1	11月 7日(雨)	横浜⇒JR⇒呉駅 米子⇒バス⇒広島⇒JR⇒呉駅		江守 友松×2	ビジネスホテルクレ泊 同上
2	11月 8日(雨) Aチーム Bチーム	8:00 呉駅前出発～仁方駅 11:10(タクシー)⇒ 11:20 小仁方バス停 11:28(バス)⇒12:02 豊浜支所 お好み焼き「まりちゃん」で食事 13:30～ 16:30 県民の浜「輝きの館」 8:11 呉駅発(JR)⇒仁方駅 09:00 発～大橋入口 (小仁方バス停) 10:00 安芸灘大橋～11:00 下蒲刈島～(軽トラの 屋台でうどん)～13:40 県民の浜「輝きの館」	9.9Km 8.1Km 2.8Km 11.2Km	友松 江守、和	 輝きの館泊
3	11月 9日 (曇／一時雨)	7:50 輝きの館発(送迎バス)⇒8:25 豊浜支所 お好み焼き「まりちゃん」 8:25～岡村島 11:20⇒ (タクシー)⇒大崎下島御手洗(ラーメン屋で食事 街並み保存地区散策 1230 (タクシー)⇒小長港 12:30(フェリー)⇒大崎上島明石港 13:05～14:30 清風館 ～1530 木江 15:40(バス) ⇒16:00清風館	7.3Km 4.6Km 4.0Km		江守、和子チェックイン 友松チェックイン

4	11月10日 (曇／一時雨)	8:10 清風館発(送迎バス)⇒8:20 木江～ 8:50 海と島の歴史資料館(見学)10:00～ 白水港 11:30 発⇒11:10 竹原港 竹原港 11:15～大乗～13:30 忠海駅 14:29⇒ 14:41 竹原駅⇒グリーンホテルチェックイン Bチーム 竹原港 11:15 ～11:35 竹原駅～グリーンホテル ～14:30 吉名駅～15:00 安芸津駅 15:04 ⇒15:16 竹原駅～グリーンホテル 街並み保存地区散策、ドリュウ(食事)	5.2Km 8.4Km 11.4Km	友松、江守 江守 友松 友松、江守	和子は路線バス 和子はバスで帰る 荷物預け グリーンホテル泊
5.	11月11日 (晴)	竹原駅 8:00(JR)⇒8:12 忠海駅～9:40 安芸幸崎 11:08 須波港(食事)11:30 ～13:20 三原駅(解散)	17.5Km		「一人で日本一周」の 小林卓矢氏に出会う
		合計	58.1Km	32.3Km	

4. 参加費

往復交通費(米子⇒広島)	1,7,400	35,000(江守／横浜)
忠海～竹原(往復)	480	
フェリー(小長港⇒明石港、白水港⇒竹原港、岡村島⇒小長港)	1,340	
タクシー(仁方⇒小仁方、木江⇒清風館、御手洗 2,100÷3)	700	
宿泊代(輝きの館、清風館、グリンスカイホテル)	28,400	
飲食代他	7,000	
計	55,320	72,920(江守／横浜)

5、地図(出典広島県道路公社)



6. 歩行の詳細

11月 8日（雨⇒曇）

7:00 ホテルロビー集合、ホテルの前にあるファミリーレストランで朝食。簡単なミーティング。

雨が続きそうなので、2組に分けて歩くことにする。Aチーム友松／呉～仁方⇒豊浜支所～県民の浜

Bチーム江守、友松和子／呉⇒仁方～県民の浜とする

Aチーム（友松／呉駅前～仁方⇒豊島支所～県民の浜）

8:00 出発。

蔵本通り約1Kmに国際グルメ大会がかかっている、紅葉の下にいろんな屋台がたち並び、それぞれ準備に忙しく立ち働いている、さすが国際都市の呉、店の数が多いだけでなく、いろんな外国の屋台もあって、準備中であるが、通り抜けるだけでも楽しい。30分ほど予定外の時間を使ってしまった。この後は急ぎ、R185号休山新道を行くことにする。約2Kmの休山トンネルが心配であったが、十分に広い歩道が、網入りの強化ガラスで車道と隔離されており、騒音もあまりなく、排気ガスもなく、気持ちよく通り抜けることができた。広付近で雨が上がり、ポンチョを外して歩く。時々小雨がくるが、菅笠だけでしのぐことができ、ピッチがあがる。



ビジネスホテルクレを雨の出発



蔵本通の国際グルメ広場

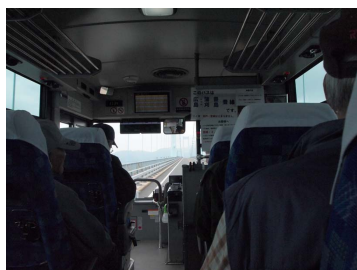


休山トンネルの歩道

11:10 最初の中継点の仁方駅に到着。

歩いては間に合わないが、バスかタクシーにのれば、小仁方からの次の折り返し中継点上蒲刈島豊浜支所行きのバスに1本早く乗れるので、駅前で客待ちしているタクシーに飛び乗る。小仁方バス停で10分ほど待って、沖友行き県内高速バスに乗車。

天気が良ければ歩いて渡るはずの安芸灘大橋（2.6Km）はバスの中から見る。下蒲刈島を抜け、上蒲刈島のはずれの豊浜支所まで乗車。上蒲刈島へ渡ったところで、Bチームを追い越した。豊浜支所から折り返し道で、昼食をとれるところがないか見て行くと、それらしいところはまったくない。



安芸灘大橋(バスから)



大橋詰の見戸代駅でトイレ休憩



今日の終着地豊浜支所前

13:30 豊浜支所着

何か食べられるかと訊いてみる。二人目のおばさんがお好み焼き屋を教えてくださいました。行ってみるが、見つからない。立ち話中のお母さんに訊くと、通り過ぎとのこと。礼を言って道をもどりかけると呼びとめられた。菅笠のロンドンー東京2万キロのロゴが眼に入ったらしい。たちまち、何人かの奥さ

ん方に取り囲まれた。記帳をお願いすると、お互いに譲り合いになり、通りかかったお坊さんに書いてもらうことになる。お礼を言い、道をもどると、またとおり過ぎたらしく、後ろから声が飛んできた。どうやら自転車もすれ違えないような細路地の奥に店があるらしい。10mほど入ったところに、「お好みまりちゃん」の店があった。「お任せ」というと、麺の入った特大を作ってくれた。キャベツがたくさん入って、青ネギがたっぷりとトッピングされ、ふんわりと柔らかく、野菜の甘さと香りが心地よい。広島でもなく、大阪でもない「まりちゃんの」味であった。女主人のまり子さんは百合子さんの方がぴったりのスリム美人である。食べている間にもいろいろな顔ぶれが入ってきて、声をかけて行く。コーヒーを入れてくれ、ミカンを持って行けと袋に詰めてくれる。他にも連れがいるとわかると、もう一袋作ってくれた。明日の再来を約して、店を後にした。重かったが、嬉しい重さであった。



陽気な奥さん連とお坊さん



幟旗の奥がお好みまりちゃん



お好みを焼くまり子さん

13:30 今夜の宿「県民の浜輝きの館」まで約8Km、急げば2時間のコースを写真を撮りながら、ゆっくり歩く。島という島がすべてミカン山。ミカンが「どうぞ採って下さい」とざわめくので、お言葉に甘えて夏ミカンの一つだけ頂いた。リュックサックには入らないので持ち歩く。重さが気になり橋の上から海に放り込みたい誘惑に駆られるが、最後まで大切に持ち歩いた。

16:30 輝きの館へ到着。Bチーム（江守、和子）に合流。露天風呂から海の180°パノラマ。数えたら12の島が見え、島なみ海道の橋群も見えた。豪快の一言。（友松）



みかん畑の向こうに豊島大橋



豊島大橋（豊島側から）



夏ミカンと豊島大橋

Bチーム（江守、和子／仁方～県民の浜輝きの館）

8:10 呉駅発

呉駅から歩行する友松さんと別れ、友松夫人と JR 呉線で仁方駅に向かう。

8:50 仁方駅を出発、呉では雨が降っていたが全長 2,639m もある安芸灘大橋を雨風の中傘を差しては歩けないだろうと天候を心配していたが、雨は上がって風も強くなく下蒲刈島に渡り終えた。11時には次の蒲刈大橋を渡り上蒲刈島に上陸したが橋のたもとの売店は11時半にならないと食事は出せないと断られ、人家の全くない海沿いの国道185号線を原に向って進んだ。坂道を喘いで登ると「うどん」の幟旗がひらめく原のうどんやにたどり着いたが、軽トラの荷台で冷凍うどんを暖めて発泡スチロールの椀に入れただけのうどんだった。まあ空腹だったので美味くないうどんを流し込み、午後早くにゴールの県民の浜に着いた。（江守）



JR仁方駅を出発



2番目の蒲刈大橋を渡る

11月9日（曇⇒雨）

7:50 送迎バスで昨日の終着地点、豊浜支所前まで送ってもらう。昨日お世話になった「お好みまりちゃん」を再訪問。コーヒーをご馳走になり出発する。店は近所の人たちで朝から賑っている。どうやら便利屋も兼ねているらしい。もう一度まりちゃん焼きをたべに来よう。（友松）



輝きの館テラスで



輝きの館玄関で



お好みまりちゃんを再訪

県民の浜から友松さんが前日に歩いた所まで車で送ってもらい、連続する3本の橋を渡った岡村島は愛媛県だった。本土に近い島が愛媛県とは、きっと瀬戸内海賊が活躍していた戦国時代に何か物語り、いわれがあるのだろう。

古い街並みの残る御手洗を見て小長(おなが)港からフェリーで大崎上島の明石港に渡り、今日の宿の清風館に午後に到着した。（江守）



とび島海道最後の岡村大橋



県境左が愛媛県右が広島県



御手洗街並保存地区

14:30 江守、和子はそこでチェックイン。友松は単独で歩行を続ける。出発する頃から雨になり、ポンチョと菅笠を着けて歩く。清風館は海に突き出た半島の山の上にあり、登って来た道を戻り、県道まで戻り、道を急ぐ。振り返ると海に突き出た半島の上に、清風館の建物が見える。造船所の大きなクレーンに囲まれて。新造の小型タンカーが船台に置かれ、船首の前に紅白の幕で飾られた栈敷席が建てられている。どうやら、進水式の前らしい。木江の町の旧道は古い街並み残っており、写真を撮りたくなるが、バスに間に合わせるため、これも通過するだけ。木江支所前バス停に発車予定5分前に到着。ポンチョを外し、バスを待つが、予定の時刻になっても来ない。時刻表を眺めていると、「バスは来ますか？」と女性の声。振り向くとカラー系の車が停まり、ウインドウを下げて、30代と思われる女性がこちらを見ている。以前、山口県

の下松でバスに乗り遅れて、米子へ帰れなくなってしまった時、駅まで送って頂いた（私が女神さんと呼んで感謝した）刺繍の先生と見間違えるほどよく似た方で、びっくり。「お願いします」と口に出しかけて気がつくと、そのすぐ後ろにバスがくっついて停まっている。まったく気の利かないバスめ！と内心毒づきながら、木江の女神さまに丁寧にお断りし、バスに乗車、清風館に戻った。（友松）



丘に上がった船？郷土資料館



潜望鏡付？謎の球体



進水式まえの小型タンカー

11月10日（曇）

8：10 友松、江守へ送迎バスで昨日の終着地点、木江支所前まで送ってもらう。（和子は島内循環バスで 後から追いかけて来る。

8：50 海と島の歴史資料館へ到着。9時開館まで門前で待つ間に和子がバスで到着」するが、あわてて下りて、手提げ袋をバスに置き忘れてしまう。資料館の受付の女性がバス会社に電話をかけてくれて、忘れ物を折り返しのバスで届けてもらうことになる。

10：00 忘れ物を待つ和子を残し、友松、江守は出発。10：40白水港へ到着。和子が、出航間際に追いついて、11：00 出航。11：10 竹原港へ到着。（友松）



木江を出発／初めての晴天



海と島の歴史館



白水港に停泊する船

Aチーム（江守／竹原～忠海）

11：10 海沿いをしばらく歩き大崎上島を横断する峠道を通って島の西面に出てフェリーで本土に渡った。竹原港から単独で国道185号線を東進し、大乘（おおのり）を越えて忠海（ただのうみ）駅にゴールして呉線で竹原に戻った。

忠海の地名の由来は、平忠度がこの地で海賊退治をして名を二つに分け本土側を忠海、沖の島を度村となづけたそうだ。（江守）

Bチーム（友松／竹原～安芸津）

11：10 竹原港で和子は広島行きのバスに乗り、米子へ帰る。江守さんは東へ向って忠海へ、友松は西向きに安芸津へ向って歩く。竹原駅前にある今夜の宿グリーンスカイホテルへ荷物を預け、空身で歩く。市内沿道の中華料理店で昼食。道は鉄道線路に沿った旧道と山手を走る新道に別れ、旧道を選ぶ。線路沿いなので平坦道と思ったのがはずれで、線路より高い所に上がったり、下に沈み込んだりでアップダウンがきつい。暑さもあってバテ気味。吉名駅まえの食料品店でアイスクリームを買って、エネルギーを補給。

15:04 安芸津発⇒15:16 竹原着。グリーンホテルへチェックイン。すぐに着替えて、先着の江守さんと外出。街並み保存地区へ行く。ホテルのまえにレトロなトヨタの車があり、写真を撮る。てっきり宿泊客のものと思ってたら、ホテルの送迎車とのこと。知っていたら乗せてもらったのに、それを知ったのは翌日。後の祭りでした。

竹原は西の小京都と言われ、古い街並みが保存され、NHKの朝ドラ「マッサン」で一躍観光スポットとなった。ドラマの舞台となった竹鶴酒造に行く。近くの空き地にマッサンとエリーの像が出来ていた。

5時半に予約したイタリア料理店へ行く。夜は前日予約オンリーで、前日は電話が不通で今日の予約になったため、コースの準備ができず、一品のメニューしかなかったが、ワインとよく合って、堪能した。



トヨタの車／幾らしたのだろうか



マッサンの生家／竹鶴酒造



マッサンとエリーの像

11月11日 (晴)

8:00 竹原駅JR発⇒8:12 忠海駅着／発。国道185号をひたすら歩く。昨日痛めた足の爪に痛みがのこり、ピッチがあがらない。

安芸幸崎で重装備の若者とすれ違った。振り返ってみたら、リュックサックに「歩いて日本一周」のペナントを付けている。呼びとめてエールの交換。背中地図から推して4分の1ほどを消化したようだ。全泊野宿とのことで、食器 洗いのたわしもぶら下げている。世の中にはこんな人もいる。お互い無事を祈りあって別れた。



歩き旅人コバこと小林卓矢さんと行きあった



今日はネコ集団にもであつた



最終目的地三原駅

13:20 予定より1時間半遅れで、最終目的地JR三原駅へ到着。ここで解散した。

7、メッセージ

1	年月日 : 2015.11.8 名前 : 日高 隆紀・長瀬 千 地名 : 広島県安芸高田市長島 感想など : 素晴らしい体験です。特に、お母さんと一緒に、お父さんの墓参りに行ったことが、とても印象に残っています。
2	年月日 : 2015.11.8 12時50分 0823-68-3199 名前 : お好みずりちゃん 西中 21子 地名 : 広島県安芸高田市長島 2721-1 感想など : 店に入ったら呼ばれ、お母さんに見えませんでした。お母さん、お父さん、お祖母さん、お祖父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんな、とても優しく、とても楽しい時間を過ごしました。
3	年月日 : 2015.11.10 (土) 名前 : 海と鳥の歴史資料館 (大塚 昌郎) 地名 : 広島県安芸高田市長島 2721-1 感想など : 朝早くから、お母さん、お父さん、お祖母さん、お祖父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんな、とても楽しく、とても勉強になりました。
4	年月日 : 2015.11.11 名前 : 小島 孝夫 (徳島県立大学) 地名 : 広島県安芸高田市長島 2721-1 感想など : 自分とは違いますが、お母さん、お父さん、お祖母さん、お祖父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんな、とても優しく、とても楽しい時間を過ごしました。
5	年月日 : 名前 : 地名 : 感想など :